




テーマ名	子どもの心の発達
担当教員	佐々木 由美子 教授 (学科長)
学 科 名	足利短期大学 こども学科
内 容	<p>子どもの発達や性格は、同じ年齢でもさまざまで、ひとり一人異なっています。これは、子どもが生まれつきもっている素質に加えて、子どもの生活する環境との相互作用が大きく影響するからです。特に乳幼児期における周囲の人との関わりは、子どもの発達に大きな影響を及ぼします。そのため、この時期に重要なのは、周囲の人を好きと思える「基本的信頼感」と自分は周囲から愛されている、また自分のことを無条件に好きと思える「自己肯定感」です。これらを土台として子どもは健やかにのびのびと発達していくのです。</p> <p>授業宅配便では、基本的信頼感・自己肯定感を土台とした、子どもの心の発達過程について一緒に学んでいきましょう。</p> 
写真・画像	 <p style="text-align: center;"><b>ストレージ・シチュエーション法</b></p>  <ol style="list-style-type: none"> <li>① 実験者、母親が入室。実験者は子どもを膝に乗せ位置を固定して観察 (30秒)</li> <li>② 母親はイスに降り、子どもは遊ぶ (3分)</li> <li>③ 見知らぬ人 (ストレージャー) が入室。母親とそれぞれのイスに座る (3分)</li> <li>④ 母親は退室、見知らぬ人は子どもに働きかける (3分)。1回目の母子分離</li> <li>⑤ 母親入室。見知らぬ人は退室 (3分)。1回目の母子再会</li> <li>⑥ 母親退室、子どもは一人残される (3分)。2回目の母子分離</li> <li>⑦ 見知らぬ人が入室、子どもを抱かぬ (3分)</li> <li>⑧ 母親入室。見知らぬ人は退室 (3分)。2回目の母子再会</li> </ol>
対象生徒	すべての高校生